

スマート保安の取組

2021年3月24日
ミツウロコヴェッセル
保安統括室

スマート保安への取組

I.LPWAの活用

LPWAを活用し顧客先にあるLPG設備の保安情報、検針情報、指針情報など多岐に亘る情報を掴むことにより、円滑な対応、効率的な管理が行われ不要な活動が低減される。LPG事業者側も顧客側も安心、安全、安定的な供給を実感できる体制が構築される

II.LPG顧客管理プラットフォーム

LPG業界における顧客管理プラットフォームが構築されることにより顧客の移動、移転並びにセキュリティ情報の蓄積に加え、他業界（都市ガス、電力業界、水道などインフラ業界）との連携を可能となる。拠点ごとの保安情報を管理することが可能となり、顧客はリモートによる点検を実現させることにより非接触型の取引が実現する

LPWA SmartOWLメータ情報提供サービス

サービス①

月次検針値

- ・ 検針日毎に検針データ取得
- ・ 当日検針データ未取得の場合、前後2日間の検針データにて確認
第1・2希望を以下より選択
(1日前/2日前/1日後/2日後)
- ・ 販売店へも希望のフォーマットにて検針データの提供可。
自社システムの改修不要
(※レイアウトによっては対応できない場合があります)

サービス②

保安情報・日次指針値

- [保安情報]
- ・ 警告情報 (A,B,BR,ABR等) を取得並びに送付
 - ・ 遮断情報 (BCガス止め、Cガス止め等) も可
 - ・ 送付タイミング：日次or検針時の2種類より選択可
(※指針取得時に表示されている情報のみ取得します)
- [日次指針値]
- ・ 日次で指針データを送付

サービス③

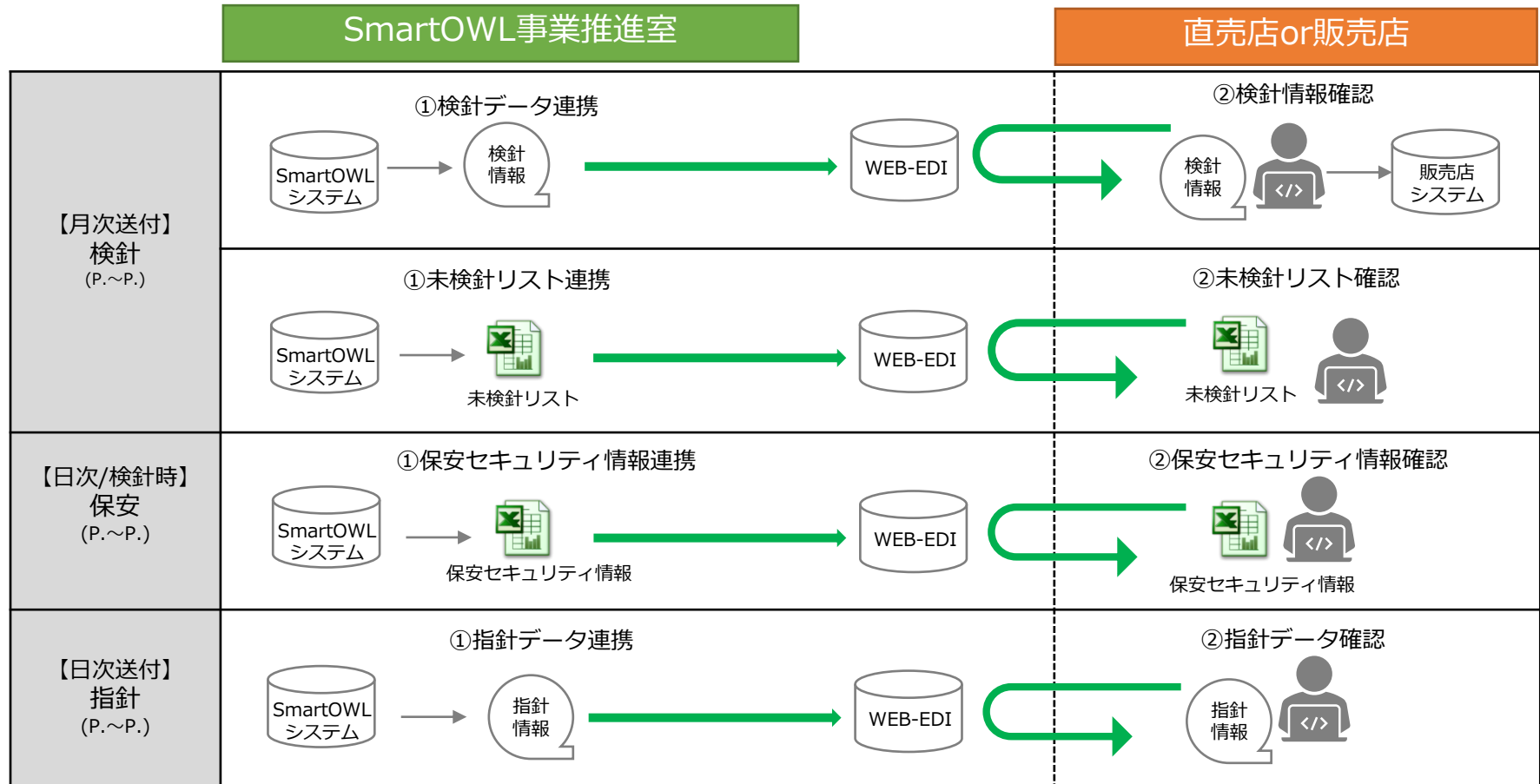
閉栓指示

(最大24時間のタイムラグ有)

- ・ ガスメータを遠隔で閉栓可能
(日次の通信時に指示を行うため、最大24時間のタイムラグが発生)

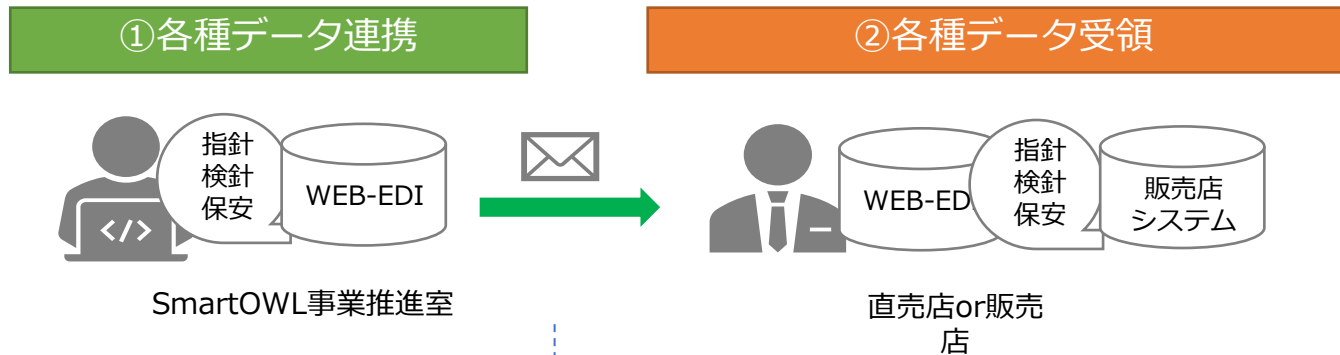
※ システム準備中

LPWA 運用（指針/検針/保安情報取得）



LPWA 運用（指針/検針/保安情報送付）

SmartOWL事業推進室は契約内容に従い、月毎に該当日にWEB-EDIにて指針・検針・保安セキュリティ情報の送信



	対応内容
①	SmartOWL事業推進室はサービス申込内容に従い、WEB-EDIにて直売店or販売店へ指針データ・検針データ・保安セキュリティ情報の送信を行う。
②	直売店or販売店は①で送信されたデータをWEB-EDIよりダウンロードし、必要に応じて販売店システムへの取り込みを行う。 （※ 事前にご申請をいただくと、WEB-EDIより各種データ受信時に通知メールを送信）

LPWA 運用（保安セキュリティ情報送付）

<保安セキュリティデータ>

- AM2:00時点に発生しているアラート情報を取得し、アラート取得日の午後にWEB-EDIで随時送付
（日中帯に上がったアラートでAM2:00までに解消された情報は取得できません。）
- 送付タイミングは「日次」「検針時」のいずれかより選択が可能です。

サンプル：保安セキュリティデータ（EXCEL）

セキュリティ取得情報リスト																									
事業所名 サンプル販売店 様																									
取得日： 2019年10月9日																									
メーターから発報した時点の状況																									
無線ユニットID	お客様コード	連携コード	設置先名	設置先住所	（微量・圧力式） 微小漏洩警告	圧力式 微小漏洩	閉塞圧力異常警告	供給圧力上限異常警告	供給圧力下限異常警告	電池電圧低下	未接続検知電源・信号線短絡	流量区分監視コード	合計・増加流量遮断	継続使用時遮断	継続利用時予告	外部センサ遮断	センタ遮断	Hライン遮断・遠隔弁閉・	緊急遮断・遮断異常警告	警報器作動	圧力センサ作動	感震器作動	（外部機器1作動・CO警報器） 外部機器2作動	遮断弁復帰	テスト遮断 / 復帰安全確認中遮断
12345678900	111111	1110	サンプル 太郎	さいたま市大宮区下町1-1-1	レ	レ						レ E													
12345678901	222222	1111	サンプル 花子	さいたま市大宮区下町2-2-2						レ		レ 6		レ											

◆LPガス顧客管理プラットフォーム



LPガス顧客管理
プラットフォーム

供給地点番号で消費者を管理

消費者と事業者の紐づけ

供給地点番号ごとの設備を管理

メーター・調整器型番等の登録

設備の期限を管理

期限切れ交換対応の催促

保安点検の期限を管理

販売事業者へ点検実施を催促

保安点検の結果を記録

リモート点検の必要要件の記録

LPWA情報を管理

セキュリティ情報の蓄積

販売事業者のデータ取込

LPWA収集情報・設備情報連携

販売事業者の切替に利用

電力同様のスイッチング

消費者の保安情報の蓄積

事業者切替の際の保安点検不要

◆プラットフォームによるメリット

行政

- ・ LPガス利用者並びに供給事業者の把握が可能となる。
- ・ 情報の蓄積により顧客単位の保安情報（履歴・期限等）が管理可能となる。

販売事業者

- ・ 事業者変更等の際にも基本的な保安情報（履歴・期限等）が引き継がれる。
- ・ 消費設備の調査のみリモートで行うことにより、訪問による業務が一部軽減され、保安点検の効率化が図れる。

消費者

- ・ 消費設備の調査をリモートで行うことにより、自宅に招き入れる必要がなくなる

◆ リモート調査

実施可能とする要件



- ・ LPWA等により、日次でLPガスメーター情報を収集している消費者が対象
- ・ 供給設備に期限切れ等の不備がない消費者が対象
- ・ 対象の消費者がリモートによる調査を許諾した場合
- ・ 対象の消費者が、消費設備をリアルタイムでビデオ送信できる機器を使用できること

- セキュリティ情報の取得により代替とする点検調査項目
⇒ 漏洩試験・調整器圧力検査
- リモート調査の対象となる点検調査項目
⇒ 警報器全項目・ガス栓全項目・燃焼器全項目・給排気設備全項目
- その他点検項目は、従来通り点検員による実施とする

